

「多文化共生」を考える研修会2011

兵庫県には、141か国、約10万人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会が増えています。文化や言語、生活習慣の違いを認め合い、互いに尊重し合う多文化社会の実現をめざし、「『多文化共生』を考える研修会」を下記内容で開催します。興味のある方は、是非、ご参加下さい。

8月19日(金)【外国人を取り巻く困難な状況】

- 13:30~13:40 主催者あいさつ
- 13:40~15:10 「マイノリティの貧困状況～改善の必要性～」
堤 未果 (ジャーナリスト)
- 15:10~15:30 休憩 (著書販売・著書購入者へのサイン会を行います)
- 15:30~16:45 「東日本大震災の外国人被災者の現状」
後藤 キャサリン (HAWAK KAMAY FUKUSHIMA
会長、福島県国際交流協会タガログ語通訳員)

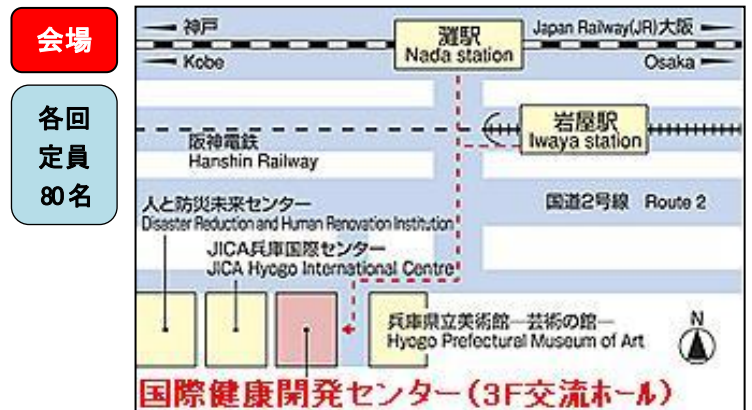


堤未果

ジャーナリスト。東京都生まれ。和光小、中、高卒業後、アメリカに留学。ニューヨーク州立大学国際関係論学科卒、ニューヨーク市立大学大学院国際関係論学科修士課程修了。国連婦人開発基金 (UNIFEM)、アムネスティ・インターナショナルNY支局員を経て、米国野村證券に勤務中に9・11同時多発テロに遭遇。以後、ジャーナリストとして各種メディアで発言、執筆・講演活動を続ける。著書：「ルポ・貧困大国アメリカ」(岩波新書) (2008年日本エッセイストクラブ賞受賞、新書大賞2009受賞) (韓国、中国、台湾で翻訳版出版) 社会の真実の見つめかた (岩波書店) 2011年2月19日

8月22日(月)【外国にルーツを持つ子どもへの教育】

- 13:30~15:00 「イギリスの多文化教育が日本の教育に示唆するもの」
田淵 五十生 (福山市立大学教授)
- 15:15~16:45 「外国人の子どものエンパワーメント
～すたんどばいみーの子どもたちとの関わりから」
清水 睦美 (東京理科大学准教授)



会場

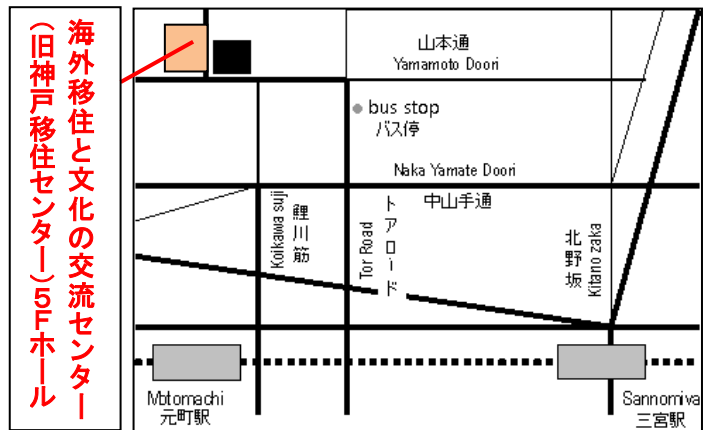
各回
定員
80名

8月26日(金)【生活者としての外国人の日本語支援】

- 13:30~15:00 「生活者としての外国人の日本語支援
～外国人定着支援日本語システム」
太田 祥一 (群馬県生活文化部国際課課長補佐)
- 15:15~16:45 「多文化共生と日本語教育
～日本語教育にできることとできないこと～」
伊藤 健人 (群馬県立女子大学准教授)

会場

定員
60名



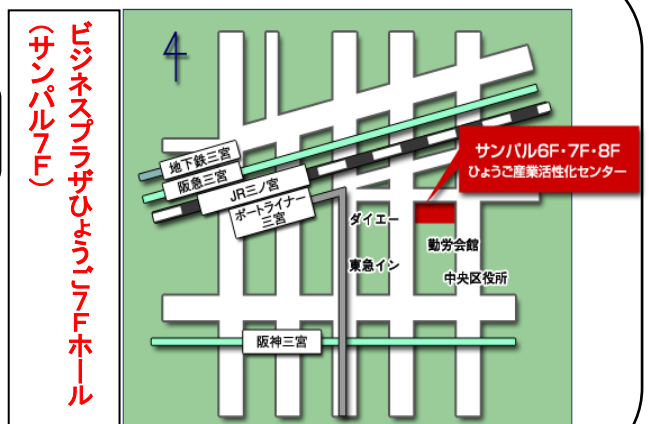
海外移住と文化の交流センター
(旧神戸移住センター)5Fホール

8月29日(月)【外国人県民の活力を活かした地域経済の活性化】

- 13:30~15:00 「外国人人材との協働：兵庫県だからできること」
井口 泰 (関西学院大学教授)
- 15:15~16:45 「在日コリアン企業の歴史と現状
～地場のケミカル産業の変遷を通じて～」
きむ て ふあん
金 泰 煥 (大久ラバー株式会社専務取締役)

会場

定員
60名



ビジネスラザビヨウラフホール
(サンパル7F)

共催：兵庫県経営者協会 後援：(公財)ひょうご産業活性化センター

【資料代】 500円/回 が必要です。(全回参加で初回納付の方のみ1500円)

【申込締切】 8月14日(日)

【申込・問い合わせ先】 NPO法人神戸定住外国人支援センター (KFC)

TEL: 078-612-2402 FAX: 078-612-3052

E-mail: kfc@social-b.net

【申込方法】 ①お名前、②所属等、③連絡先 (TEL、FAX 又は E-mail)、④参加を希望する日 の4点を明記して、FAX 又は E-mail で上記申込先までお申し込みください。

1回でも
参加いた
だけます。

主催：兵庫県、兵庫県教育委員会、(公財)兵庫県国際交流協会、NPO法人神戸定住外国人支援センター、神戸市